

令和6年度 杉並区立八成小学校 学校経営計画

1 教育目標

人権を尊重する精神を基調として、学ぶ喜びと主体性をもち、自らの学力、人間性、体力を高めようとする児童の育成を目指し、次の教育目標を掲げる。

- 深く考える子
- 思いやりのある子
- たかましい子
- ◎進んで取り組む子

2 学校経営の基本方針

杉並区教育ビジョン2022「みんなのしあわせを創る杉並の教育」では、一人一人が教育の当事者であり、誰もが自分らしく生きることを大切にしてみんなのしあわせを創る5つの視点を示しています。①子供の思いを尊重する。②ちがいを受け入れる。③対話を大切にする。④学びの成果を贈り合う。⑤社会を創る当事者として考える。

この視点を踏まえ、本校の学校経営は以下を基本方針として進めます。

<基本方針の3つの柱>

(1) 心を磨き耕す

児童も教員も一人の人間であることを自覚し、他の人格を尊重し、自分の心を磨き耕して成長していく。

○目指す児童像：理想（夢）をもち、主体的に考え、よりよい自分をめざす意欲をもって取り組む子

○目指す教員像：自己を内省する心のゆとりをもち、職務に関する研鑽と資質向上に努める先生

(2) ルールを尊重し守る

自他の生命を大切にし、安全・安心な学校生活を保持するために必要なルールやマナーを尊重し守る。

○目指す児童像：八成のきまりを守り、安心・安全のために正しく判断・主張・行動しようとする子

○目指す教員像：法令遵守と服務事故防止を意識し、教育公務員としての自覚をもち職務に励む先生

(3) 人との関係を大切にする

人間関係のつながりを大切にし、出会いや多様性をコミュニケーションに生かしていく力をつける。

○目指す児童像：すすんで返事やあいさつができ、自他のよさを認め合い役立つことに喜びをもてる子

○目指す教員像：報・連・相で組織的に取り組み、保護者の相談を受け止め地域と連携ができる先生

この基本方針をもとに、前例踏襲でない“未来を生きる子供たちが夢を育む教育”をつくるため、八成小の教職員一人一人が、主体的に考え挑戦し協働していきます。子供が意見表明し行動する機会を設け、子供の「知りたい、学びたい」が育つ授業を工夫し、子供の多様性を認め合う安心・安全な環境づくりを目指します。

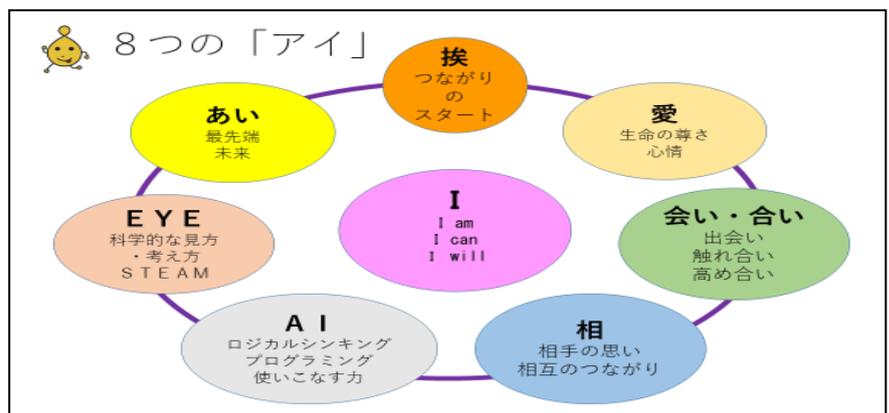
今年度、大きく変えた点は、①生活時程の変更 ②授業時数の見直し ③学年教科担任制 です。子供たちと教員がゆとりをもって関わることで、子供の相談しやすい環境づくり、教員の教材研究や児童理解の深化を図ります。

学校は夢を育むところです。子供たちも支える大人も自分の夢をもち、目標に向かって挑戦し力を伸ばしていくことで、自己肯定感が高まり、自己実現につながります。子供たちが地域や社会とつながって“本物”から学び、探究心をもって夢を育めるよう、特色ある学校づくり～“アイ”でつながる学校づくり～ 発展させます。

3 “アイ”でつながる学校づくり

～8つの“アイ”～

子どもたち、教職員が自己理解を深め、自己肯定感を高め、また他者を認め尊重し、これからの世界で主体的によりよく生きていく力、「ヒト・コト・モノ」をつなげようとする力を育みます。



4 具体的な取組

(1) 自立的・協働的な学校づくり

地域に根ざし、みんなの夢を育む学校づくり ～学びを伝えよう、未来をつくろう～

- ・本物から学ぶ豊かな体験学習（地域・外部連携）を通し、気付きや発見から探究の意欲につなげます。
- ・児童理解・相談充実のため、余裕と安心の仕組（生活時程の見直し・学年教科担任制）をすすめます。

	特色ある教育	年間を通した探究テーマ	地域・外部連携教育
1年	生き物とのふれあい (生活科・遠足)	きせつはっけん	保・幼との交流 むかしあそび 八成ファーム
2年	生き物とのふれあい (生活科・遠足)	まちはっけん	商店や近隣施設との交流 絵手紙 八成ファーム リースづくり
3年	宇宙の教室(2回)	地域の自然・環境・伝統 「八成ちょうさたい」	ヤゴ・ネイチャーフィールド 農家交流・とうふづくり 和太鼓体験
4年	宇宙の教室(2回)	地域の人々・町づくり・福祉 「わたしたちのまち井草」	商店街のお店体験 ふれあいの家交流 緑のカーテン
5年	南極学習 ロジカルシンキング	SDGsアクションプロジェクト(環境・食)	米づくり もちつき体験学習 未来をつくる・CS委員との意見交流
6年	命の教育 JAXA宇宙教育	SDGs共に生きる(キャリア教育・命・国際理解)	キャリア交流 留学生交流 戦争の話 すぎのき生活園との交流
特活	和太鼓クラブ 環境・美化委員会		和太鼓指導 腐葉土づくり

(2) 学力向上に向けて

- ①校内研究「すすんで自分の考えを表現する児童の育成」をテーマとして、児童主体の授業づくりを進めます。
- ②各種学力・意識課題調査を分析し、また算数タイムやA Iドリル活用で既習定着と個別最適な学習をします。
- ③学習規律と学習環境の整備・タブレットの活用等を学年で共通して進め、交換授業(教科担任)を実施します。
- ④個性を伸ばす探究的な学習に取り組み、サイエンスグランプリ等、各種コンクールへの参加を促します。

(3) 体力・健康向上に向けて

- ①安全に楽しく運動量を確保するよう指導方法を工夫し、体力調査結果や外部講師の出前授業を活用します。
- ②運動の習慣化や持久力を高めるため外遊びを奨励し、「長縄週間」や「短縄月間」で目標をもって取り組みます。
- ③健康教育の取組として、養護教諭による保健・健康の授業、栄養士による食育に関する指導を充実します。

(4) 安心・安全な学校生活のために

- ①学校いじめ防止基本方針に基づき、学校いじめ対策委員会で組織的・迅速に対応し未然防止・早期発見をします。
- ②学校生活のきまりや「凡事徹底」「5分前行動」「あじみこし」の取組を児童が理解し守れるようにします。
- ③特別支援教室やスクールカウンセラーと連携し、個々の児童のよさを伸ばし必要な支援をともに考えます。
- ④教育相談機能を充実させ、全教員の親身な対応により、児童や保護者が相談しやすい支援体制をつくります。
- ⑤食物アレルギー対応に細心の注意を払い、また感染拡大防止対策を油断せず、児童の健康・安全を守ります。
- ⑥校内の安全点検を行い危険箇所は迅速に改修し、休み時間等の児童の安全を教員で見守る体制を持続します。

(5) 小中一貫教育と幼・保・小連携教育の推進

- ①小中連携(中瀬中・桃井第五小・(沓掛小)・八成小) あいさつ運動、読み聞かせ、6年中学校見学等を行います。
- ②幼・保・小の教員交流(連絡会)・児童と幼児の交流(5年、1年)、スタートカリキュラムを実施します。

(6) 信頼される学校づくりに向けて

- ①生活時程の見直しにより、朝の落ち着いた時間で児童と教員がゆとりをもって関わり安心できる環境にします。
- ②学校公開日5日、保護者会4回、行事の参観、個人面談、学校ホームページ等で、学校の情報提供をします。
- ③1学期通知表の総合所見はなくし、夏季休業中に個人面談にて1学期の様子をお伝えし共通理解を図ります。
- ④学校運営協議会を8回開催し、地域に開かれた教育課程の推進を図り、学校・家庭・地域の連携を進めます。
- ⑤学校支援本部やPTAの協力を得ながら、地域の特色を生かした「本物から学ぶ豊かな教育活動」を行います。
- ⑥来年度70周年へ向けて、児童の学びを生かしながら記念誌(資料集)を作成する等、計画的に推進します。